



# きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.19-03 2019 Summer



「九十九島のカノコユリ」 撮影：早田 浩 氏

## INDEX

- 2 ● 事務部長就任のご挨拶 事務部長 木下 常伸
- 市民公開講座のご案内
- 3 ● 地域連携懇談会の開催報告
- 医療を支える人々
- 4 ● 診療活動の現況 ―耳鼻咽喉科―
- 6 ● 趣味を語る
- 健康教室の報告(5~6月)とお知らせ(9~10月)
- 7 ● 医療連携室より
- シリーズ「災害から命を守るために 水害編」
- 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

## 佐世保共済病院の理念

### 博愛の精神 人の和 自己研鑽

#### 基本方針

1. 地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2. 他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3. 新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4. それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5. 病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町 10 番 17 号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用 FAX (医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通 FAX ☎0956-22-6052 (代)FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

# 事務部長就任のご挨拶



事務部長 <sup>きした</sup>木下 <sup>つねのぶ</sup>常伸

このたび4月1日付で当院事務部長を拝命いたしました木下（きした）です。

私は五島列島新上五島町北魚目地区の出身です。長崎県立国際経済大学在学中に佐世保市民となり、1988年当院に入職後、福岡市東区にあります系列の千早病院を経て5年半ぶりに佐世保に帰って参りました。

振り返りますと2009年当院も新研修医制度の煽りを受け、医師の引き揚げに合い窮地に立たされた時、地域医療連携室の立ち上げに参加

しました。その際、地域の多くの先生方に助けられ、支えていただいたことを覚えています。私自身まだまだ勉強不足で歴代事務部長のような活躍は出来ないかもしれませんが、あの時の地域の先生方への感謝の気持ちを忘れることなく、微力ながら井口病院長を支え、佐世保共済病院が末永く皆様に愛され、地域医療に貢献できる病院となれるよう努めて参ります。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 市民公開講座のご案内

日時：令和元年 **8月31日(土)** 14:00～

テーマ：**がんと食事**

場所：**佐世保共済病院 8階大講堂**

講師：**基調講演 1 「がん治療を乗り切って食事を楽しむには？ (抗がん剤の副作用対策)」**

佐世保共済病院 腫瘍内科医員 **二尾 健太**

**基調講演 2 「がんと食事～治療を支える食事、予防を考える食生活～」**

国立がん研究センター東病院 栄養管理室 栄養管理室長 **千歳 はるか**

**話題提供 「当院におけるがん患者の栄養管理」**

佐世保共済病院 栄養科 栄養科長 **内橋 斐都美**

—総合討論— **がんの進展及び抗がん剤治療に伴う消化器症状**

**参加  
無料**

## 「顔の見える連携」を推進

医療連携室 事務課長 森 博紀

去る5月23日、第5回地域連携懇談会を開催しました。当院では「顔の見える連携」を推進しており、その取組みの一環として毎年5月に当懇談会を開催しております。各連携医療機関から医師をはじめとする医療スタッフの方々総勢260名以上の方にお集まりいただき、過去最大の懇談会となりました。

会の前半は各科の診療体制および医師の紹介、後半は立食の懇談会というプログラムでしたが、最後まで多くの方に残って頂き、お陰様で盛会裡のうちに閉会することができました。参加者からは

「毎年貴重な交流の場を開催してもらえるのはありがたい」、「各診療科の特徴や先生の顔が分かって良かった」などのご意見を頂戴し、さらなる連携強化に繋がったものと確信しております。

当院では今後も「顔の見える連携」を推進し、各医療機関との診療連携を迅速かつスムーズに行うことで地域の皆様に安心して受診して頂ける病院にしていきたいと考えております。各連携医療機関の皆様、引き続きスムーズな診療連携にご協力頂きますよう、よろしくお願いいたします。



## 医療を支える人々

### 臨床工学科

臨床工学係長 西本 淳

臨床工学科は平成17年4月に設置され、現在4名が勤務しています。臨床工学技士は医師をはじめ看護師や他のスタッフと共に医療機器を用いたチーム医療の一員としてサポートしていくよう心掛けています。

#### 【透析業務】

月・水・金は2クール、火・木・土は1クールで行っています。火・木1クール後は機器の定期点検を行っています。また、腹水濃縮再静注法、白血球除去療法、LDL吸着療法、血漿交換療法、ET吸着療法や持続血液濾過透析(CHDF)など行っています。

#### 【高気圧酸素業務】

高気圧酸素療法は気圧を2気圧まで上げ毎分240ℓ酸素を流し

60分間治療を行う為、1回の治療に90分程度時間を要します。内・外・整・耳・歯・眼科など色々な科からの依頼を調整し定期点検と安全管理の重要性を十分に認識して治療を行っています。

#### 【ME(Medical Engineer)業務】

ME室では、輸液・シリンジポンプ、人工呼吸器、低圧持続吸引器の中央管理を行い、機器の貸し出しや返却の管理を行っています。また、除細動器やAED・IABPの保守・点検業務を行っています。その他には、手術室のRFA(経皮的ラジオ波焼灼治療)やCATS(自己血回収装置)の操作を行っています。

近年、優れた医療機器が数多く導入され医療に貢献しています。

しかしその反面、医療従事者の扱い間違いや整備不良による事故が多々あります。安全な治療を行う為には定期的な点検が不可欠であり、病院の基本方針にもある地域社会に貢献し信頼される病院を目指し、安全な医療機器の使用ができるような環境作りを行っていききたいと思います。



# 耳鼻咽喉科領域における ほぼすべての疾患に対応



## — 耳鼻咽喉科 —

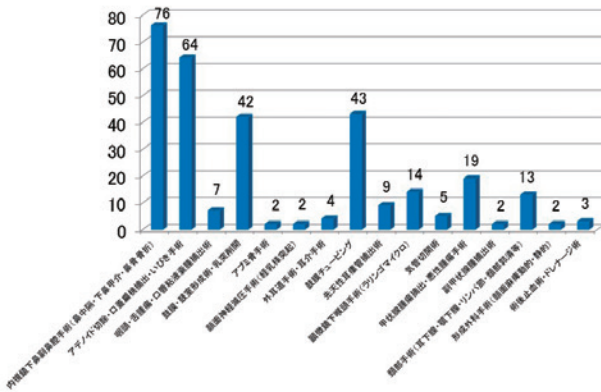
耳鼻咽喉科部長 大橋 充



### ● はじめに

当科では、耳鼻咽喉科領域におけるほぼすべての疾患に対応して診療を行っています。特に耳の病気に対する耳科手術と鼻の病気に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術については、長崎県内でも有数の手術数となっています。以下、当科で診療を行っている主な疾患をご紹介します。

2018年4月～2019年3月手術数：総数307例



### ● 耳疾患

1. 突発性難聴：突然に聴力が低下する原因不明の疾患で、早期の治療が勧められます。この疾患に対してはステロイドの点滴療法と高気圧酸素治療を併用した治療を行っています。
2. 急性中耳炎・滲出性中耳炎：小児に多い疾患で、中耳内に膿汁や浸出液が貯留します。投薬や鼓膜切開、また鼓膜チューブ挿入術による中耳内の換気改善を積極的に行っています。
3. 慢性中耳炎：多種の理由で鼓膜に穴があき、難聴や耳漏を生じる疾患です。鼓膜・鼓室形成手術による聴力改善手術を積極的に行っています。この疾患

に対して昨年一年間に行った手術の結果、すべての患者さんの聴力改善を得ています。

4. 真珠腫性中耳炎：鼓膜が中耳内に内陥し、周囲の構造を破壊しながら進展します。中耳や内耳破壊による難聴や耳漏、めまい、顔面神経麻痺を来し、時に頭蓋骨まで進展すると命にかかわる事もある疾患で、原因が未だ不明です。治療法は手術になりますが専門性が高く、どこの施設でも行えるものではありません。当科ではこの疾患に対する手術に積極的に取り組んでいます。
5. 顔面神経麻痺：顔面の筋肉（表情筋）の動きを司る顔面神経の機能障害で、顔面の脱力（麻痺）をきたします。原因は未だ不明ですが、近年ウイルスの関与が指摘されています。当科では、発症急性期のステロイド治療、画像診断、改善の程度を測る顔面神経刺激検査、改善の得られない症例に対しては手術療法（経乳突洞顔面神経減圧手術）まで行っています。また、言語聴覚士による表情筋リハビリテーションも導入しており、発症直後からの薬剤加療、手術、リハビリまで総合的に治療を行えます。



耳の手術を行う大橋医師

## ●鼻副鼻腔疾患

1. アレルギー性鼻炎・花粉症：近年、内服薬や点鼻薬の進歩開発が著しく、主にこういった薬剤を使用した治療を行っています。しかし、薬剤によっても改善しにくい鼻づまりや鼻汁症状の方に対しては、鼻腔を開大して症状改善を図る手術治療も行っています。
2. 鼻中隔彎曲症・肥厚性鼻炎：生来の鼻中隔の彎曲によって鼻腔内の通気度が悪く、さらに上記した鼻炎によって粘膜が浮腫状態となり慢性的な鼻づまりをきたす状態です。これに対しても内服治療に加え、構造是正と鼻腔通気改善を目的とした手術治療を行っています。
3. 慢性副鼻腔炎：一般的に“蓄膿症”と呼ばれる疾患です。鼻腔からは上顎洞、篩骨洞(蜂巢)、前頭洞、蝶形洞といった空間が広がっています。様々な病態で、鼻腔と副鼻腔との連続性、通気性が悪化し副鼻腔内に膿汁貯留や粘膜炎症をきたすことが原因の疾患で、頭痛や鼻漏、後鼻漏といった症状をきたします。この疾患に対しては内服治療も一定の有効性がありますが、治療抵抗性の場合には、鼻腔と副鼻腔との連続性を開放し症状改善を図る手術療法を行っています。

上記の疾患群はそれぞれ関連して発症します。手術を要する症例に対しては、鼻腔からの内視鏡による手術を行っています。内視鏡下鼻中隔手術・鼻腔手術・鼻副鼻腔手術と呼ばれるものです。当院は、高画質の内視鏡設備と、最新の手術パワーツールを備えています。さらに、昨年新たに導入されたナビゲーションにより、術中もCTナビゲーション支援下で安全性も高く手術することが出来ます。



ナビゲーション下の鼻内視鏡手術を行う久我医師

## ●頭頸部腫瘍

頸部腫瘍に対しては、悪性の有無を判定することが治療法の選択にとっても重要です。超音波検査、CT・MRI検査、細胞組織学的検査による診断を行っています。

1. 良性の甲状腺腫瘍、副甲状腺腫瘍、耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍、その他頸部嚢胞性疾患などに対して外科的摘出手術を行っています。
2. 現在、悪性疾患（悪性リンパ腫、口腔癌、咽頭癌、喉頭癌、唾液腺癌、甲状腺癌）の診断に至った場合は、高次医療施設へのご紹介をして治療を行っています。

## ●口腔疾患、咽喉頭疾患

口腔咽喉領域で最も多いのが、扁桃疾患です。また、発声に関わる大事な器官としての声帯にもポリープや腫瘍などの疾患が存在します。

1. 急性の扁桃炎や更に増悪した扁桃周囲膿瘍症例に対しては、入院して集中的な抗菌加療を行っています。急性扁桃炎を繰り返す慢性（習慣性）扁桃炎の症例に対しては、根治的加療として口蓋扁桃摘出術を行っています。
2. 声帯ポリープや声帯腫瘍などの症例に対しては、顕微鏡下の喉頭微細手術を行っています。最新のレーザー機種も備えており、これを併用した手術を行っています。
3. 小児から成人まで、いびきや睡眠時無呼吸の治療を行っています。小児は扁桃やアデノイド肥大が原因となることが多く、これらの切除・摘出を行います。成人にはCPAP（経鼻的持続陽圧呼吸療法）や軟口蓋形成手術といった手術療法も併用して治療しています。

## ●めまい

耳には三半規管や前庭といったバランスの感覚器が存在し、その異常によってめまいが生じます。メニエール病、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎といった疾患が主なものです。基本的には薬剤による治療になりますが、状態に応じて入院加療も行っています。

## ●嚥下障害

飲み込みにくい、むせやすい、肺炎を繰り返す、などが症状で、高齢化に伴い嚥下障害の方は増加しています。嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行い、食事形態の工夫、嚥下訓練などによる治療を行っています。

## ●おわりに

外来診療は月曜から金曜までの午前中です。火曜、水曜、金曜は手術を行っており、月曜と木曜の午後は各種外来検査を行っています。当科外来は医師2名、看護師3名、看護助手1名で診療に当たっています。地域の先生方との連携をさらに綿密に行い、患者さんに寄り添った、より良い診療が出来るよう日々研鑽してゆく所存です。今後共よろしくごお願い申し上げます。

## 気付けばシェイプアップ

泌尿器科 安田 拓司

「ルオオ！…、ドルァ！！」と、思わず口から漏れてしまうのがボルダリングです。私が勝手にそう思っている訳ですが、それで理解できた方は見込みがあります。

見た目と裏腹に、老若男女、筋力を問わず誰でも楽しめるスポーツでしかも格好いい。かなり格好いい。大会では気持ち高ぶる曲が流れ、そびえ立つ壁に挑戦するファイナリストを取り巻く多数の観客が応援する。会場が一つになったその空気に触れた瞬間、あなたはもう虜。東京オリンピックで直に見るべき競技の1つと言えます。

そして、ボルダリングは最高の

エクササイズになります。楽しんで遊んでいるのに、気付けばシェイプアップ出来ていて、男性なら逆三角形のソフトマッチョに、女性なら引き締まったメリハリ体型になれるはず！

最後に後出しで失礼しましたが、私自身は佐世保に来てからほぼ登りに行けてません。場所があってもアクセス難なもので。。。ということで、今回だけ「趣味を語る」ではなく「思い出を語る」にテーマ変更します。限られたスペースの為、もう終わってしまいますので「自分を磨く」ということで登りに行こうと思いますが、興味のある方はどうですか？



今までで最も登りまくっていた時

## 健康教室の報告（5～6月）とお知らせ（9～10月）

### 健康教室「学ぼう！身近な医学」

臨床研究室 石戸 久美子

健康教室を開催しました。5月は「メタボリックシンドロームに関する話題」をテーマに、生活習慣病のリスクについて詳しい説明がありました。普段から気にはしていますが、なかなか実践することは難しい食事の管理についても、わかりやすく生活に取り入れやすいお話で、皆さん熱心に聴かれました。その日の夕食から早速活用されたのではないのでしょうか？

6月は、「大切な家族を看取るときに、知っておきたいこと」をテーマに、誰にも訪れる、避けては通れない「看取り」についてお話がありました。患者さんの気持ちに寄り添った介護が出来るよう、声かけの方法など具体的な説

明もありました。励ましのつもりでかけた言葉が、相手を傷つけてしまうこともある…教えられて初めて分かることも沢山ありました。以前の経験を反省した人、今の介護に役立てようと思った人、いつかの未来のために心に留めておこうと思った人、皆さん感慨深い思いで教室を後にされたことと思います。

また、この日はテレビ佐世保から取材に来られ、共済病院には公認心理師が常勤していることを市民の皆さんに知って頂ける良い機会となりました。

今後も健康に関する最新の情報をご提供し

たいと思います。参加は無料で、予約も必要ありません。お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。

#### ▶ 今後の予定

- 9月10日  
**スキンケアについて**  
創傷ケア特定看護師
- 10月8日  
**病院の機能について**  
～入院から退院までの支援～  
医療連携室



取材中の富崎公認心理師



# 医療法人社団 音琴クリニック

〒857-0841 佐世保市大宮町29-5 TEL 0956-31-1230

## 病院長 音琴 要一郎 先生

音琴クリニックは日本生命の社医をしていた祖父が昭和8年60歳の時に現地の大宮町で開業したのが始まりで、86年の歴史があります。父は軍医でしたが大学を卒業し戦地に赴く前に数ヶ月共済病院に勤務したという話を聞いたことがあります。父が他界した後5年間のブランクはありましたが、平成4年より後を継いで音琴クリニックを新規開業しました。開業当初は共済病院放射線科に大学の同級生である藤松先生が部長でおられ、また放射線科に病棟入院がありましたので高齢者の不明

熱、癌末期の患者さんなど無理をお願いしていた思い出があります。専門は消化器外科医でしたが開業してからは、かかりつけ医として内科、外科、整形外科、皮膚科など分かる範囲で地域医療に携わっています。最近が高齢化社会となり在宅医療に力を注いでいます。在宅医療に興味のある5名の先生と強化型在宅支援診療所としてチームを組み、色々な悩みを抱えながら癌末期在宅看取りを含め終末期医療に積極的に取り組んでいます。在宅医療を行う者にとって後方支援病院が必須となってき

### スタッフの皆さん



前列中央 院長 音琴要一郎先生

ますので、共済病院におかれましても連携ご支援をお願いする次第です。

また、日頃から患者さんの紹介予約、急患の無理なお願いなどをスムーズに対応して頂き、ドクターを始め、看護師さん、連携室のスタッフの皆さんに感謝しております。最後に私事ではありますが今年4月から次男が共済病院外科で仕事をさせて頂いています。何分若輩者ですがご指導のほど宜しくお願い致します。

## シリーズ「災害から命を守るために 水害編」

### 災害から命を守るために

通常の雨は側溝や河川を經由して海に流れ込みますが、側溝や河川の許容範囲を超える大雨が降ると越水や氾濫、堤防の破壊で濁流が住宅地に流れ込み、建物内浸水や建物が崩壊(流失)する危険があります。また、長雨により土壌の含水量が一定範囲を超えると崖崩れ、敷地や道路崩壊などが発生して建物損壊、道路の通行不能、電気、ガス、水道などのライフラインも寸断される可能性があります。

豪雨時の命を守る基本は、不要不急の外出を避け、側溝や河川に近寄らない、氾濫や崖崩れの危険がある場合は早めに避難準備や避難行動を開始することです。主要河川の橋げたには「危険水位表示」、海岸線付近では電柱に「海拔表示」が設置されていますので確認をお勧めします。特に大潮の満潮時は河川の増水や高潮の危険がありますので注意が必要です。崖崩れは、斜面に亀裂が発生したり、濁水が

### 救急・防災専門役 村岡 昭治

湧き出すと危険信号です。

医療・福祉施設では、入院患者などを安全な場所へ避難させることが最重要です。地域の気象情報(雨量、気圧、潮汐)とハザードマップを参考にするとともに、避難する場合の必需品、避難方法、避難場所など、職員一人ひとりが危機意識を向上させ、何をすべきか、何ができるのかを再確認して下さい。



### 編集後記

今回の表紙は当院職員が撮影した佐世保市の花「カノコユリ」です。カノコユリの花言葉「荘厳」「上品」という意味があるそうです。夏の暑さでだらしなくなってしまうよう、表紙のカノコユリのように上品に過ごしたいと思います。

編集委員 田代 祐子

# 外来診療担当表

令和元年7月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓	
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患	
	医員	山崎 政虎					●				●		腎臓疾患	
	〃	橋本 康平	●						●				腎臓疾患	
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患	
	医員	片伯部幸子								●		●	循環器疾患	
	〃	北村 知聡	●						●				循環器疾患	
	非常勤	田淵くみ子									●		循環器疾患	
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患	
	〃	熊埜御堂淳									●		循環器疾患	
〃	眞島 涼平	●		●								循環器疾患		
呼吸器内科	非常勤	堤 央乃					●						呼吸器疾患	
糖尿病内科	非常勤	九州大学						●	●				糖尿病内科	
消化器内科	非常勤	河野 健次							●		●		肝臓疾患、糖尿病	
	〃	藤松 雅彦							■				消化器内科	
	〃	橋口 慶一					※						消化器内科 ※第1・3・5週	
	〃	田淵真惟子					※						消化器内科 ※第2・4週	
腫瘍内科	院長	井口 東郎					●						膵がん・胆道がん	
	医員	二尾 健太	●				●		■		●		1.消化器がん(食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど) 2.乳がん、3.原発不明癌、4.肉腫(GIST・軟部肉腫)・その他	
	〃	上原 康輝	■		●				●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
外科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
	乳腺外科部長	原田 洋					●				●		乳腺外科・一般外科	
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医員	内野 肇博			●						●		一般外科	
	〃	音琴 真也					●		●				一般外科	
	非常勤	川畑 方博					●						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科	
	乳腺外来			■		■		■				■		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい(要予約)
			内野			音琴			原田			原田		
小児科	顧問	岡 尚記					■		■				小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般	
	部長	上玉利 彰	●		●				●				小児血液、小児がん、小児一般	
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息	
	医長	金城 勤也			●		●		※		●		小児一般、小児アレルギー疾患(※第1・5週)	
	〃	中島 康貴	●				●		※		●		小児一般、小児アレルギー疾患(※第2・4週)	
	アレルギーセンター顧問	濱崎 雄平							※		※		小児アレルギー疾患(※第3週)	
	乳児健診				●								火曜 13時から診察開始 14時までに受付を行って下さい	
	慢性外来						●						水曜 14時から診察開始	
喘息外来										●		木曜 14時から診察開始		
脳神経外科	部長	山川 勇造		●				●	●		●		脳神経外科一般	
	医長	尾藤 昭次	●		●		●				●		13時30分から診療開始 16時までに受付を行って下さい	
整形外科	部長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害	
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害	
	〃	烏山 和之	●						●		●		股関節外科、リウマチ	
	〃	上田 幸輝	●		●		●						膝・肩関節疾患、腫瘍	
	医員	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患	
	〃	萩尾 聡	●						●				整形外科一般	
	〃	高須 博士			●						●		整形外科一般	
	〃	倉員 太志					●						整形外科一般	
泌尿器科	部長	中村 貴生			■		■		■				泌尿器疾患	
	医員	安田 拓司	※		■				■		■		※第2・4週	
	〃	伊藤 秀徳	■				■				■			
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		▲		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	〃	木下秀一郎			●		●		▲		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患	
	医員	二尾 愛	▲		●				●		●		●：婦人科診察日 ▲：産科診察日	
	〃	井町 佑三	●		●		▲				●			
	〃	岸田 薫	●				●		●		▲			
眼科	部長	原 潤	■		■		※	■	■		■	※	原医師8/31までの診療となります	
	医員	松本 拓	■		■		※	■	■		■	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術	
			※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)											
耳鼻咽喉科	部長	大橋 充	●		●		●		●		●		鼻科・耳科疾患、聴覚疾患、耳鼻咽喉科一般	
	医員	久我 亮介	●		●		●		●		●			
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。											
	医長	梶原 寿浩												
	医員	田淵 史典												
麻酔科	診療部長	深野 拓			■		■		■		■		月～金午前：ペイン・緩和ケア・術前外来	
	医長	松永 祥志	■		■		■		■		■		月～金午後：手術麻酔	
	〃	木本 文子	■		■		■		■		■			
	非常勤	別府 幸岐	■		■		■		■		■			
ペインクリニック	部長	境 徹也	■		■		■		■		■		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。	
病理診断科	顧問	井関 充及	細胞診断・病理組織診断全般											
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症	
	医員	木附 智子	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	菌性感染症など	
	〃	濱田 雄太	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155											
	医長	原 敬一												

●：診療日 ■：予約のみ